



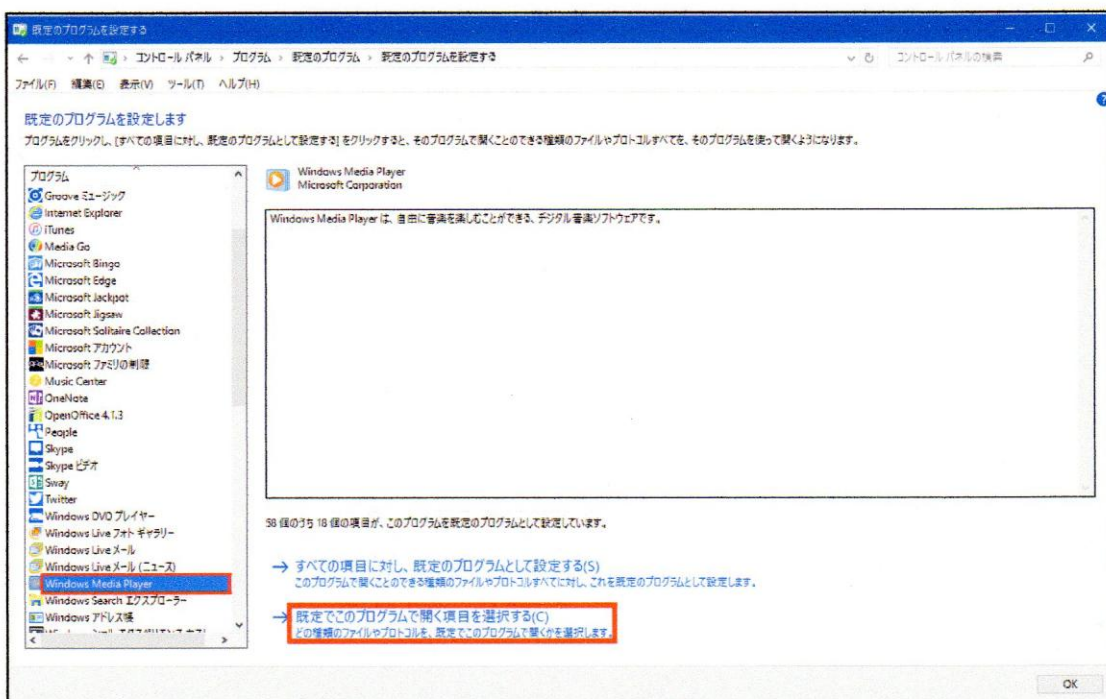
拡張子とアプリの関連付け方法

パソコンで音楽を聴きたい、写真を見たり編集したい、動画を観たいなどのときは、そのファイルを開けば観たり、聴いたりすることはできるのですが、その再生ソフトがいろいろあって、どれがいいのか迷ったり、このアプリの方がいいのにと開き直したりすることがあると思います。例えば、mp3 という音楽ファイルを再生できるソフトには「iTunes」、「Windows Media Player」「GOM Player」「Real Player」など数多くあります。Windows10 の場合「Windows Media Player」に設定されていると思いますが、それぞれに特徴があり、ほかのソフトで開きたいという時もあると思います。開く時に選んでもいいのですが、mp3 はこのソフトで聴こうと最初に設定しておけば、いちいち再生ソフトを選択しなくてもよいようになります。

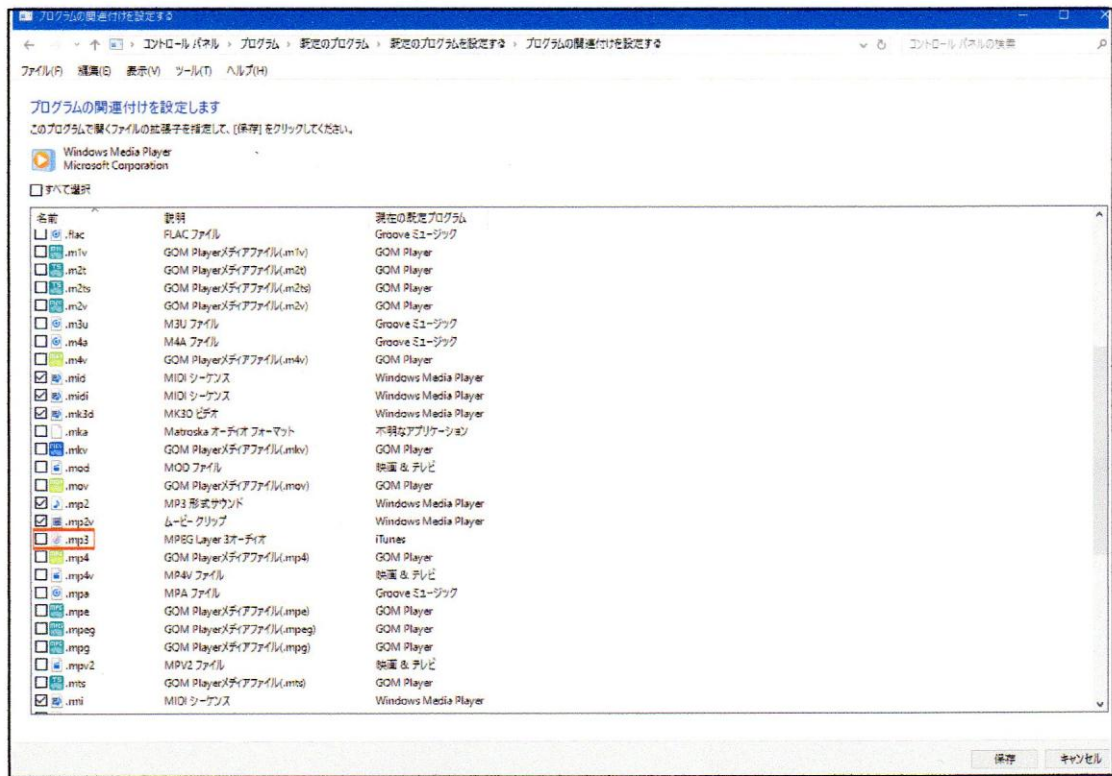
今回はファイルの拡張子とアプリの関連付け設定を変更する方法についての説明です。

1. スタートボタンで右クリックしコントロールパネルを開きます。
2. 「プログラム」⇒「既定のプログラム」⇒「既定のプログラムの設定」を開きます
3. 変更したいアプリケーションを選択します。

左の「プログラム」の一覧から、関連付ける拡張子を変更したいアプリを選択クリックし、右下の「既定でこのプログラムで開く項目を選択する」をクリックします。



4. プログラムの関連付けを設定します。



5. 設定が終われば「保存」をクリックし、前の画面に戻れば「OK」をクリックし、以下「x」をクリックして設定の変更は完了です。

6. 変更の確認

関連付けしたファイルをダブルクリックし、変更したアプリで開くかどうかの確認をします。

ファイルを選択して右クリックすると、開けるアプリが表示され、その中から選んで再生することもできます。今現在、設定されているファイルに関連付けされているアプリは、ファイルの左側のアイコンで分かるようになっています。

【参考】

よく使われる種類別拡張子は、パソコンクラブ書庫No.76「拡張子についての復習」をご覧ください。

